

『異邦人』入門(全二回)

不条理太陽がまぶしかったから



グレート・ブックス読書会

今回は、フランス人が選ぶ「20世紀の名作50」で堂々の1位に選ばれたこともある『異邦人』を読みます。150頁足らずのこの作品に、いったい何が詰まっているのでしょうか。1, 2回生大歓迎の入門読書会です。どなたでも自由にご参加ください。

日時 : [1回] 7月29日(火) [2回] 8月末予定
17:00~18:30

場所 : 環on (人間・環境学研究科棟1階東側)

書名 : カミュ『異邦人』

異邦人 / カミュ[著]; 窪田啓作訳 新潮文庫
吉田南 1F グレートブックス 953||I||2



進め方

2回に分けて、『異邦人』を読み解きます。1回目はまだ読んでいない方も歓迎します。もちろん事前に読まれた方も大歓迎します。できれば参加希望者は『異邦人』(新潮文庫)をご持参ください。2回目の開催は8月末もしくは9月を予定しています。また、参加者のみなさんと歓談しながら、次に読みたい本を決め、その後も読書会を続けていきたいと考えています。(藤井・小林)

コーディネーター : 藤井遼介さん

(経済学部4回生)

ファシリテーター : 小林哲也先生

(国際高等教育院非常勤講師/ドイツ文学・思想)

藤井さんからひとこと

現代社会において、私たちは何を基準に生きればいいのかという問題に直面しています。本屋で所狭しと並ぶ自己啓発本などがそのいい例です。しかし、そのような類の本では腑に落ちず進むべき指針を見出せない、僕を含めそのような不安を抱えた学生さんが多数見受けられます。

今回『異邦人』を取り上げたのは、そんなはっきりとしない答えに近づくためのヒントとなると思うからです。今という時間を生きる主人公ムルソーの生き方と現代日本人の生き方を比較することで、カミュの哲学を学ぶとともに上のような不安を少しでも払拭する一助となることを願っています。

藤井遼介
京都大学経済学部学生。

小林哲也
1981年生まれ。京都大学国際高等教育院非常勤講師。
京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了 博士(人間・環境学)。
専攻はドイツ文学・思想。特に20世紀ドイツの思想家ヴァルター・ベンヤミンについて研究している。

申込 : 事前予約優先 (当日参加も歓迎)

下記アドレス(★)宛てにメールでお申込みください。

件名を「異邦人読書会」とし、お名前・ご所属・回生を明記してください。

※いただいた情報はコーディネーター・ファシリテーターにお知らせします。どうぞご了承ください。また今後のご案内を図書館からお送りさせていただく場合がございます。読書会以外には使用しません。

問合せ先

京都大学 吉田南総合図書館(逍遙館)

Tel 075-753-6525,6524

Mail(★) eturan61@mail.adm.kyoto-u.ac.jp

Twitter @yoshidasouthlib

URL <http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/yoshidasouthlib/>